



ヤマブシ 山伏と ヤマダチ 立

山に生きた人々の暮らし

2021年 12/4(土) - 2022年 4/11(月)

開館時間：9:30～16:00(12月～3月) / 9:00～16:30(4月～11月)
休館日：毎週火曜/年末年始12月28日(火)～1月4日(火)
入館料：大人400円 高校・大学生300円 小・中学生200円
アクセス：鶴岡駅前2番乗り場より路線バス羽黒山頂行きで約40分。
「いでは文化記念館前」バス停より徒歩約1分。
山形自動車道「庄内あさひIC」から車で40分。

いでは文化記念館

〒997-0211 山形県鶴岡市羽黒町手向字院主南72
Tel.0235-62-4727(代) Fax.0235-62-4729
E-mail: haguokanko@bz04.plala.or.jp

企画展
記念講座

マタギ文化の継承—鶴岡市朝日地区大鳥の歴史と民俗—

2022年3月19日(土)13:30～15:00 会場：いでは文化記念館レクチャーホール
講師：田口比呂貴氏(地域おこし協力隊OB、Sukedachi Creative庄内代表)
◆定員60名(参加費：無料)※事前申込制となります。お申し込みは電話・メール・FAXで。

山伏と山立

ヤマブシ
ヤマダチ

山に生きている人々の暮らし

古くから人々は、厳しい自然と折り合いをつけながら豊かな山の恩恵を受けるとともに、山を畏れ敬って生きてきました。

山に対する信仰は日本古来の自然崇拝に始まり、山には神仏が宿り、山中で厳しい修行を積むことで人知を超えた力を得られると考えられてきました。その修行者たちは山伏〈ヤマブシ〉・修験者と呼ばれ近世は村里に定住し、地域の寺社の祭祀に関わるとともに、村の年中行事や人々からの相談にまじないや加持祈祷でこたえていました。

一方、農村の生活を営みつつ山に入り狩猟を生業とする人々は、山伏と同様に山岳信仰を根本とした神への畏敬の念を持ち、厳格な習わしのもとに獣を捕って暮らしてきました。彼らはマタギ、あるいは山立〈ヤマダチ〉と呼ばれていました。

今回の企画展では、山に「伏す」者と山に「立つ」者、この対照的な名前を持つ山の人々がかつてどの様に生き、何を信じ暮らしてきたのか、東北各地に残る資料からその一端をご紹介します。

▼「オコゼ奉納絵馬」庄内町歴史民俗資料館蔵



▶「ヤマノカミ」真室川町歴史民俗資料館蔵

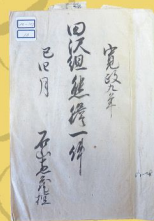


▶「ヤマノカミ」碧祥寺博物館蔵



▲「ツキノワグマの剥製」タキタロウ館蔵

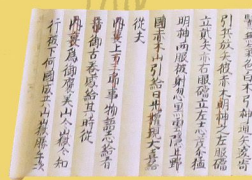
▲「熊の胆」碧祥寺博物館蔵



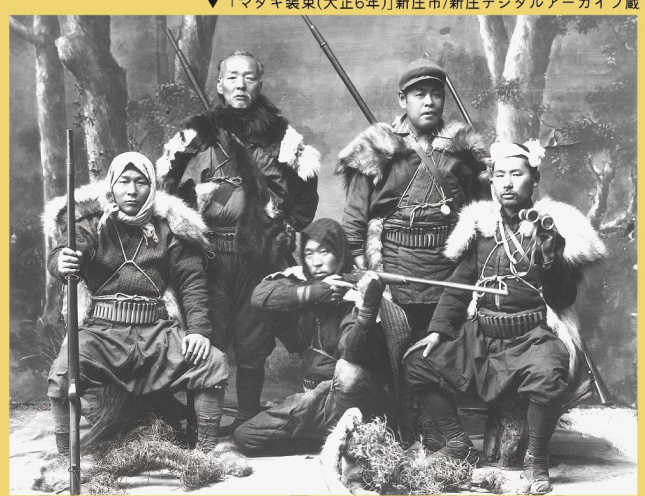
▲「田沢組熊膽一件」鶴岡市朝日地区蔵



▲「熊の頭骨」朝日屋蔵



▲「山立根本巻」碧祥寺博物館蔵



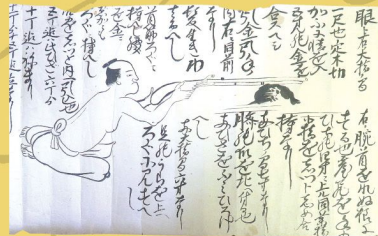
▲「ワラダ」真室川町歴史民俗資料館蔵



▲「猫師鉄砲鑑札」碧祥寺博物館蔵



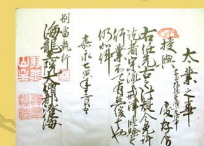
▲「火縄銃」碧祥寺博物館蔵



▲「テッポウウチカタヒデシヨ」碧祥寺博物館蔵



▲「タテ(槍)」碧祥寺博物館蔵



▲「木葉之事」いでは文化記念館蔵



企画展記念講座 マタギ文化の継承

—鶴岡市朝日地区大鳥の歴史と民俗—
2022年3月19日(土)13:30~15:00
会場：いでは文化記念館レクチャーホール

鶴岡市大鳥で狩猟や採集、歴史・民俗調査を行っている田口比呂貴さんを講師にお招きし、国内でも数少ないマタギ文化が残る大鳥の歴史や文化、民俗にまつわるお話を伺います。

◆定員：60名
◆参加費：無料
※企画展見学には別途入館料が必要です。
※事前申込制となります。
電話・メール・FAXいずれかでお申し込み下さい。



講師：田口比呂貴氏
(地域おこし協力隊OB、Sukedachi Creative庄内代表)

企画展ギャラリートーク

2021年12月11日(土)
2022年2月13日(日)※日本遺産の日
2022年3月26日(土)

◆各日13:30~
◆当館学芸員が展示解説を行います。
開始5分前までに企画展示室入り口にお集まり下さい。
※申込み不要(ただし、密集を避けるために定員に限りがあります。ご了承下さい。)

いでは文化記念館

〒979-0211 山形県鶴岡市羽黒町手向学院主南72
Tel.0235-62-4727(代) Fax.0235-62-4729
E-mail: haguorokanko@bz04.plala.or.jp

